

令和3年度 年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	数学	科目	数学Ⅲ	3学年	7単位
使用教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅲ		使用教材	改訂版 クリアー数学Ⅲ	
授業担当者					

目標	これまで学んできた数学を基に将来、社会で数学を積極的に活かすための知識や技術を身に付け、目先の目標である大学受験を成功させる力を身に付けさせる
----	---

学期	単元・指導内容（章・節・項）	予定時数	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学期	第1章 複素数平面 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形 第3章 関数 分数関数 無理関数 逆関数と合成関数 第4章 極限 数列の極限 関数の極限 第5章 微分法 導関数(商の導関数まで)	98	複素数平面を考えることで、複素数を図形的側面から理解する 極形式の有用性を理解し活用することができる ド・モアブルの定理を利用して複素数の n 乗を計算できる 複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し、活用できる 分数関数、無理関数の式とグラフについて理解できる 逆関数・合成関数の求め方を理解できる 等比数列を扱うことができる 極限の扱いに慣れることができる 微分計算ができる	日頃の週末課題 授業での演習問題の取り組み 定期考査 の3点で評価する
2 学期	第2章 式と曲線 2次曲線 媒介変数表示と極座標 第5章 微分法 合成関数と逆関数の導関数 いろいろな関数の導関数 第6章 微分法の応用 導関数の応用 方程式・不等式への応用 第7章 積分法とその応用 不定積分 定積分 積分法の応用	98	2次曲線について、各曲線の定義、曲線ごとの焦点、準線、漸近線の方程式の扱いに習熟させる 曲線の媒介変数による表現を理解できる 曲線の方程式の表現が座標の設定に依存することを理解させ、極座標の利点を学ぶことができる 増減表・グラフをかくことができる 積分計算ができる 積分法に関するいろいろな問題の解法を学ばせ、解法に習熟することができる	日頃の週末課題 授業での演習問題の取り組み 定期考査 の3点で評価する
3 学期	センター対策 2次試験対策	49	入試問題において解答を正しく導き出すことができる	授業での演習問題の取り組み